

鹿嶋さん

第 10 号
 発行日 平成 27年1月 1日
 発行先 新屋鹿嶋祭保存会
 発行責任者 海風 敏夫
 編集責任者 藤枝 隆博
 事務所 日吉社会館

鹿嶋祭とは神と人、親子の心の絆を結ぶかけがえのない文化的遺産

新屋鹿嶋船を展示開始

平成二六年九月二六日、「ウエスター祭り」初日、西部市民サービセンター2階に「新屋鹿嶋船の模範的な鹿嶋船」が展示されました。全長2.5メートル、幅1メートル、高さ2.8メートルという本物の鹿嶋船の約2分の1の縮尺版です。製作にあたったのは新屋鹿嶋祭保存会制作委員会で、一年以上の協議を重ね完成させたものです。



ウエスター2階展示中の鹿嶋船

模範的な鹿嶋船とは

鹿嶋祭は、毎年六月第二日曜日に行われ、二〇町内と栗田養護学校が参加します。この中から「模範的な鹿嶋船」を選定するにはきわめて困難な作業です。船体、舳先、帆（柱）、お堂、太鼓、鹿嶋人形、登載人形（現在はアニメキャラクター人形が多い）などそれぞれ町内会の伝統、特徴、思い入れが



武将の神様・鹿嶋大明神 (たけみかづちのおおかみ)

詰まっている鹿嶋船だからです。

舛谷氏の鹿嶋船のスケッチ画



スケッチ画からはじめる

制作委員会では、川口彌之助氏著書「新屋語り草」文中の挿絵、各町内の鹿嶋船や秋田市民族芸能伝承館「ねぶり流し館」展示の鹿嶋船、国立歴史民俗博物館奉納記念鹿嶋船（新屋鹿嶋流し保存会寄贈）の写真、資料を取り寄せ参考にしながら協議を重ねました。収集した鹿嶋船をもとに保存会会員の舛谷博英氏が鹿嶋船の特徴をとらえた代表的なスケッチ画を描き、設計図をつくりあげていきました。

新屋地域の力が結集し 模範的な鹿嶋船が完成

鹿嶋祭保存会会員には大工、内装等を生業とする保存会会員が多数おり鹿嶋船の骨組み、船体、帆柱、ガジギ巻きは保存会会員が担当し、鹿嶋大明神は金澤國太郎調査研究副部長、お堂は武藤富夫（建設）の宮大工、鹿嶋人形の顔は美大生が担当、鹿嶋人形と短冊は各町内から提供していただきました。帆はウエスターで学びソーイングサークルの皆さんに「鹿嶋丸」の文字を縫い付けていただきました。

新屋地域の多くの方々のご協力、ご支援が結集した素晴らしい出来栄えの新屋鹿嶋船です。是非一度足を運んでご堪能下さい。

一見の価値ある見事なお堂



力と英知と情熱を傾注し 鹿嶋船の完成目指す



左が、國安明制作委員長と

右が、伊藤富美雄保存会会長

新屋鹿嶋祭保存会

制作委員長 國安明

平成二十三年十一月新屋鹿嶋祭保存会発足以降、「模範的な新屋鹿嶋船の制作」が制作部会の最大の目標でした。鹿嶋祭の各町内の船の正面、側面、後姿などの写真を参考に「模範的な鹿嶋船」を探りましたが、ひとつに集約するにはあまりにも難しい作業でした。打開策として昭和五九年九月二七日に「国立歴史民族博物館所蔵の新屋の鹿嶋船」（寄贈団体＊新屋鹿嶋流し保

存会）の写真を見、資料を取り寄せてこれを参考に会員の舂谷博英氏に「鹿嶋船のイラスト画」を描いて、次に設計図づくりを進めました。

平成二六年三月の保存会三役各部長会議で「製作委員会」発足を決定、七月の定期総会で「九月ウエスター祭り」まで鹿嶋船を完成させることを目標に、模範的な鹿嶋船の制作に会の総意と英知を集めることが議決されました。

鹿嶋祭は新屋の伝統の祭りであり、最も象徴的な鹿嶋船の製作は大きなプレッシャーを感じておりましたが、「ヨシ！やってみようぞ！」と決意がみなぎってきました。

高美町内会館を舞台に本格的な鹿嶋船づくりが始まった



新屋鹿嶋祭保存会 会長 伊藤富美雄氏の突然の訃報

新屋鹿嶋祭保存会会長伊藤富美雄氏（大川町内会）が、平成26年12月1日、急逝されました。故伊藤富美雄会長は、新屋鹿嶋祭保存会の準備委員長から初代会長に就任して今日まで約4年間、保存会活動にご尽力されました。

故伊藤富美雄氏が情熱をもって陣頭指揮をとられた「鹿嶋船制作委員会」は、平成26年11月14日に「解散式」を行いました。その解散式においても元気なお姿を見せて会員の労をねぎらっておられました。しかし、「解散式」を終えた翌日から突然体調不良を訴えられ、急きょ入院治療することとなりましたが、ご家族の看病もむなしくかえらぬ人となりました。日頃のご壮健ぶりからは想像すらできぬ訃報でありました。

鹿嶋祭保存会として故伊藤富美雄様にお悔やみの弔電と花輪を手向けましたのでご報告致します。

「故伊藤富美雄様のご逝去に接し、心からお悔やみを申し上げます。新屋鹿嶋祭保存会の会長として発足から鹿嶋船の完成まで求心力と指導性を十分に発揮され、会員一同を導いていただきました。故人との語りつくせぬ思い出で胸がいっぱいです。ご生前のご厚情に深く感謝いたしますと同時に、安らかなご永眠をお祈りいたします。

平成26年12月6日

新屋鹿嶋祭保存会会員一同

なお、保存会三役会議（平成26年12月18日）において海風敏夫副会長を次期総会まで会長代行に選任致しましたのでお知らせします。

製作開始は八月お盆休みからで、各委員がそれぞれ持てる力と技を存分に発揮し、熱い情熱をもって真摯に懸命に取り組みました。

また、秋田市の「地域づくり交付金」制度を利用したおかげで素晴らしい鹿嶋船が完成したと思っています。必ずや新屋の皆様にも喜んでご覧になっていただけるものと期待しておるところです。

完成した鹿嶋船を見るにつけ「感謝」の言葉しか見つかりませんが、貴重な

尊い体験をこれからの保存会活動に活かしていくことをお誓い申し上げます。各員各位に改めて深い感謝と敬意を表します。

ありがとうございました。

鹿嶋祭保存会第4回全体会議

日時 平成27年2月15日（日）16時

場所 ウェスター会議室

議題 (1) 「模範的な鹿嶋船制作の総括」
(2) 「新屋鹿嶋祭のルーツ考察」

懇親会 会議終了後懇親会を行います。

会費 2000円（後日、案内文発送予定）